

平成 17 年 1 月 1 日

第 3 号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

新春を迎えて

理事長 小澤 盛久



新年明けましておめでとうございます。

例年新年を迎えると、夢・希望・未来・目標といった言葉が躍動するが、果たして今年
は世界・日本そして我々のグループや会員にとってどんな年になるであろうか。

想えば昨年一年は実に多事多難な年であった。真夏日連続日数の記録更新、10 回も上
陸した台風による風水害は全国各地に及び、加えて新潟中越地震である。

又、海外に目を向ければ、イラク・北朝鮮・中東地域・世界の今後に大きな影響を与え
る米大統領選挙等々目の離せないことの連続であった。さて当グループの昨年一年を振り返ってみると、
まず会員数では個人正会員 240 名、賛助会員 62 社と大きな組織に成長し、さらに拡大を続けている。

次に主たる活動の加治丘陵内の下刈り・間伐・枝打ち等の現場作業について言えば、現在迄に延べ参加人
員は 1,500 人を数え、平成 17 年 3 月末には作業面積 14 万㎡に達する実績を残すことが予想される。

この間危険防止のための各種講習会・森林視察研修会・カブト虫採り体験学習の開催・第 14 回入間市環
境展や入間市万燈まつり出店参加等、様々な事業を展開し、又会員相互の親睦を図るべく趣向をこらした懇
親会も種々開かれた。総じて当グループにとっての昨年は成長し、充実した一年間であったと思う。

最後に本年が読者の皆様にとって良い年でありますように願っております。

新年にあたって

入間市環境経済部長 滝澤 啓次



NPO法人加治丘陵山林管理グループ会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。
平成 17 年新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。昨年中は、小澤
理事長をはじめ、理事並びに会員の皆様方のご協力によりまして、加治丘陵における保
全用地の山林管理が精力的かつ円滑に進められていることにつきまして、厚く御礼を申
上げます。加治丘陵に代表される緑の環境や景観は、「未来の市民からの預かりもの
」との観点から平成 9 年度に加治丘陵さとやま計画を策定してから現在までに公有地化

による市の保全用地面積は、56 ヘクタールに及んでおり、貴重な緑地は何ものにも代えがたい市民の共有の
財産ですが、行政としてこれらの貴重な財産を市民の手で守っていただくボランティア活動を更に拡大して
いかなければならないと考えております。

NPO法人加治丘陵山林グループも組織設立以来一年半を経過し、運営も着実に進んで、発展してしま
すことは、入間市の緑地を保全するための責務を負っている担当として、まことに心強く感謝にたえません。

今後とも、加治丘陵の緑地保全に係るボランティア活動にご尽力いただくと共に、貴会役員及び会員の皆
様方のご多幸でご活躍されることをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

蜂刺され防止策研修会 開催 (講師 小澤理事長)

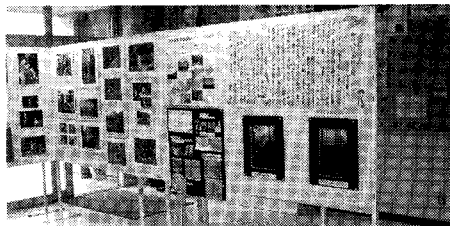


埼玉県寄居林業事務所にて開かれた寄居農林部・森づくり課主催の「蜂刺され防止策講習会」に出席した時の資料を基に、9月12日(日)金子公民館の会議室において、防止策・刺された場合の対応策などについて、会員30名に対して講義が行なわれ、認識を新たにした。

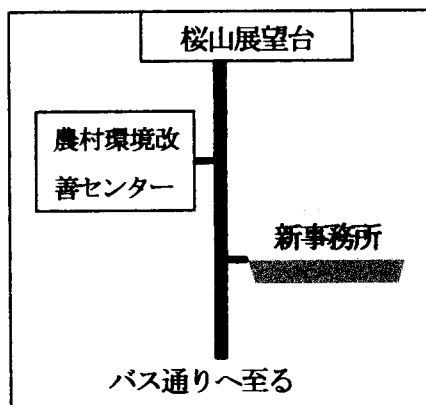
作業活動写真展による当グループのPR (金子公民館)

10月20日(日)・21日(月)の2日間、加治丘陵の地主に対し、加治丘陵さとやま計画(仮称)「加治丘陵さとやま自然公園」の都市計画決定についての説明会が開かれた。

この開催に伴い、金子公民館の協力を得て、1階フロアのパネル4枚を使い、ポスターや写真などによる当グループの基本理念や活動状況についてPRに努めた。



事務所開設について



入間市では「加治丘陵保全」に携わるグループのため、管理事務所を建設中で、平成17年3月末日迄には完成の予定。

我々加治丘陵山林管理グループもそこに新事務所を開設すべく、準備しているが、他のグループとの情報交換も行える。

我がグループも事務処理は勿論のこと、機材も効率よく管理出来るので、完成が待たれる。

場所：入間市下谷ヶ貫924 入間市農村環境改善センター前
西武バス 中神駅下車 徒歩8分

新保険契約締結

これまで作業に携わる時、万一の事故に備えて保険に加入していたが、今回補償及び支払い保険料を改善する目的で、新たにあいおい損保㈱と契約した。今回の保険は、新しく作った「ボランティア保険」であり、これまでの保険と比較して大変有利な契約となっており、安心して作業が出来る保険である。

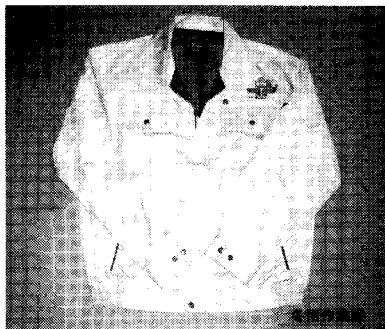
イベントのお知らせ

当会では、下記の要領でイベントを企画しました。皆様の参加をお待ちいたします。

1. 日 時 平成17年2月13日(日) 9時~12時 雨天の場合・・・2月27日(日)
2. 集合場所 入間メモリアルパーク入口 駐車場
3. 実施場所 入間市大字南峯字北長沢 908-1
4. 内 容 ① しいたけ菌・なめこ菌種の駒打ち ② かぶと虫の育成床の設置
5. 費 用 無料 希望者にはホダ木を配布します。
6. 問合せ先 ☎ 04-2966-3131 小澤

冬用作業服・刈り払い機使用者用ゼッケンの作成

・ NPOのロゴマーク入りの冬用作業服が、出来上がりました。希望者は総務班に申し込んでください。



・ 刈り払い機使用者が着用するゼッケンを作りました。オレンジの中に白くNPOと縫込んであり、目立つので危険防止になります。



第26回入間万燈まつり 出店参加

昨年に引き続き、10月16(土)・17(日)の両日、当グループで参加出店した。今年は出展の資格審査も一段と厳しく、事前会議も回を重ね周到な準備が必要とされた。

二日間共好天に恵まれ、味自慢のイカの丸焼きは昨年同様大好評で、焼き方は大忙しでその顔は汗で光り、売り方の大きな声も絶え間なく、会員一同心を一つにしての販売はなんとも心地よく、又微笑ましく、疲れを忘れての二日間であった。

終了後、日を改めての反省会は、仏子駅に近いギャラリーやまなかで、大勢の参加者のもと開かれたが、それはそれは愉快的ひとときであった。多くの会員の真心こもった協力に心から感謝している。

(副理事長・実行委員長 武藤 茂)

特集 私の趣味

男のロマン

(事務局長 大山 博)



銀行をリタイア後こそ我が人生と自分でも広げすぎたと感じながらも、動と静の多くの趣味で人生をエンジョイしている。その内の一部、先ず写真。光と影の芸術だと言われる。美しいものを美しく、深い表現を目標に、一瞬のシャッターチャンスのため、長い時間息をひそめる。その傑作?は高倉公民館ロビー正面に常時展示中だ。

次に本命の達摩画。禅宗の祖、達磨大師の姿を毛筆で描いたもので、墨の黒と和紙の白で光の集約された無彩色の世界。白隠和尚・雪舟・千利休・宮本武蔵らが描き残している。個展3回。次は来年2月の予定。もう一つあげると、大型バイク。何と言ってもその魅力は風を感じる。我が人生の大きな夢実現の一步で、これからも男のロマンを求め、いずこともなく気ままな旅を続けていきたい。

趣味を楽しむ

(副理事長 山畑 博)



「一所懸命」という言葉がある。平安時代から鎌倉時代にかけて関東の武士団は武蔵七党と称し、横山・猪俣・児玉・丹・村山・西・野与の各党の下、更に214氏に分かれ時の権力者に従属して戦役の都度、一族郎党が死を恐れずに戦った。父が戦死すれば、その子が後を継ぎ、家臣団がこれを支える。自分たちの土地は自分達で守り領土を確保するという。まさに「命懸けで一所を守る」ことが何よりの心構えであったと聞く。私は趣味としてかつての会社の仲間と共に「歴史を楽しむ会」の企画担当をしている。

会員は160名程度で年6回ほど、関東各地の名所古跡を訪ねている。参加者は毎回50名前後で、資料の検

討、下見そして食事場所の設定等、大変手間のかかることではあるが、「古きを温ねて新しきを知る」という諺の通り会員と共に楽しんでいる。

私の入会動機

入間市西武図書館に行った時に入口で「加治丘陵だより創刊号」がラックにあるのが目に留まり、帰宅してから内容を読み興味を持ちました。最後のページに「入会のお誘い」もあったので、早速会費を添えて申し込みました。以前から草花・樹木・野鳥等の観察が好きで、富士山麓や青木ヶ原や清里高原に家族と行きました。可能な限り自然の保持に努め、次世代に渡す努力が必要と考えます。加治丘陵もその対象であり会員の方々と共に「一隅を照らす」協力が出来ればと願っております。 (入間市野田 野崎 次郎)

入会のお誘い

当グループでは、加治丘陵の保全と環境に関心のある方(正会員)及び企業(賛助会員)を、募集しています。

会員になって我々の活動を支えてください。

- 我々はボランティアで活動しています。
- 約240人の会員が、汗を流して頑張っています。
- 年会費

正会員	個人	2,000円
賛助会員	会社又は団体 1口	10,000円

会員の皆様へお知らせ

「元気いも(やまといも)」の栽培が上手にできたので、無料でお分けします。1月9日(日)、作業終了後の13時頃、金子公民館にて配布します。(雨天でも配布)尚、当初予定の1月10日(月)の作業は、中止となりました。

編集後記

第3号(新年号)は、私の趣味をテーマにご寄稿頂いた。まずは多趣味で知られるお二人にお願いした。いづれの趣味にも造詣が深く、その話や作品に接するのも、又人を楽しませてくれるものである。多士多才な方々が揃った当会のメンバーに、これからどんな趣味のご寄稿が頂けるか楽しみである。

(粕谷 義久)

発行責任者 小澤 盛久

住所： 入間市扇台 3-1-1 ☎ 04-2966-3131